



第一高等学校 白梅だより

平成23年度

〈第2号〉

7月19日発行

第一高校～夢実現のための舞台～ 7月26日(火) 学校説明会実施



教頭 松山 秀峰

第一高校は今年創立108年を迎えます。お城の中の落ち着いた環境の中で、学習、部活動、学校行事等に生徒、職員がともに全力で取り組んでいる学校です。

中学生のみなさんがイメージする高校生活とはどんなものでしょうか。中学校までに身につけた様々な資質や能力を十分に発揮しながら、充実した高校生活を送りたいと考えている人がほとんどではないでしょうか。高校は様々な活動を通して、将来の夢実現のためにお互いを高め合い、自分を磨きながら成長させる舞台であると言えるでしょう。

今回の「白梅だより」では、6月に開催された高校総体や総合文化祭、そして本校独自の取組についても紹介しています。それ以外にも様々な取組が本校では実施されます。それらはみなさんの高校生活を充実したものにし、みなさんを成長させてくれる貴重な機会になるはずです。

7月26日(火)の第一高校学校説明会では、学校の様子や独自の取組等について詳しく紹介します。多くの中学生の皆さん、特に男子生徒の参加を心からお待ちしています。そして、2年後には創立110周年を迎える伝統と歴史のある第一高校を、みなさんの夢実現のための舞台にしてほしいと願っています。

《7月19日現在 学校説明会申込者数 生徒817名（男子93名 女子724名）》

キャリアガイダンス

夢の扉



ダイヤモンドの輝き
磨かれた力を叶がごう

6月10日(金)本校のキャリア教育の取組として、キャリアガイダンス「夢の扉」が行われました。全体講演会では、本校卒業生である崇城大学生物生命学部教授の松本陽子様をお招きし、「副作用のないがん治療を目指して」の演題のもと講演していただきました。また分科会では、文系・理系に分かれて今年3月に卒業された先輩の話を聞きました。進路について改めて考える、とても有意義な時間になりました。



今回の松本さんのお話は、とてもためになりました。その中でも特に印象に残っているのは、ゆめを実現するための2つのことです。ひとつは、「あきらめない」ということです。大きな目標を持ち、それに向かって絶対にあきらめないことが、大切だとおっしゃっていました。もうひとつは、「プラス思考」です。例えば、松本さんは仕事上実験をいっぱいされるそうですが、その実験の中でいっぱい失敗はあるけれど、失敗は新たな発見と思うと180度変わるそうです。私はこの話を今の自分にあてはめてみました。これから私はたくさんの模試を受けます。その中で、自分の納得のいく結果が出ないこともあります。できなかったところは、本番前に自分ができないところを見つけることができてよかったです。プラス思考で考えると、その苦手をつぶしていくばいいのではないかと思うことができます。これから受験勉強が始まりますが、松本さんのように生き活きと仕事ができるように、一年間頑張ろうと思います。

(3年 平野)

第39回 熊本県高等学校総合体育大会



総体結果報告

水泳部 九州大会出場

400mリレー・400mメドレー・200m背泳ぎ・400m個人メドレー

なぎなた部 九州大会出場

演技競技・個人試合

ウェイトリフティング同好会 優勝

48kg級・53kg級 優勝

バドミントン部 ベスト8 団体戦

テニス部 ベスト8 団体戦



文化祭 総合

見つめよう
踏みだそり
未来歴史



熊本県立第一高等学校 同窓会



白梅太鼓部
引退公演

熊本県立第一高等学校

〒860-0003

熊本市古城町3番1号

TEL:096(354)4933 FAX:096(324)0748

HP <http://www.higo.ed.jp/sh/dai1sh/>